

06 大学生による  
「大学生向けごみ分別啓発活動」!

## 地球にやさしい伊勢市を目指して!

この活動では、伊勢市内の大学生世帯を中心とするごみ分別の不徹底の現状を変えようと立ち上がった学生4名で啓発活動の実施・提案を行っています。また、それに並行して、ごみの量を減らしたいという伊勢市役所ごみ減量課の皆様の熱い思いを背負い、協力体制のもとさまざまな活動を行っています。伊勢市のこの現状を変えたい!と少しでも思った方、ぜひご参加ください。

メンバー数 : 4名  
活動場所 : 伊勢市  
実施主体 : 伊勢市環境生活部ごみ減量課  
担当教員 : 筒井 琢磨 (現代日本社会学部)  
活動年度 : R05



## 1年の活動まとめ・考察 (成果と課題)

まず、1年間の成果として、ごみ分別啓発を通して、活動者全員がごみ分別の重要性や伊勢市のごみ分別の現状と課題について具体的に学び、主体的に全活動に取り組めたことがある。

私たちは、伊勢市の現状を知ったうえでそれを変えたいと思い組織し、活動を始めたが、伊勢市出身の学生がおらず初めの一歩がなかなか出なかった。しかし、伊勢市役所の皆様、以前より取り組まれている啓発活動について積極的に教えてくださり、多くの学びを得た。その結果、大学生の正直な気持ちと状況をもとに、より切実性を持った提案と活動実施ができた。その一つとして、倉陵祭にて各自が必要となる役割を各自で考え、協力しながら主体的に声掛けや景品の配布などを行った。

反対に、一年間の活動を通して見えた課題は、大学生に対して啓発する機会が少なかったことである。本活動は、年度初めに以降に開始したため、全体的に周知できる直接的な活動を行う機会が少なかった。その結果、大学生に対しての啓発活動が少なく、行動や意識の変容はあまり見られなかったと感じる。来年度の活動では、年度初めに着目して、活動内容を精査し、楽しみながらも伊勢市のごみ分別・減量について理解してもらえるよう努める。

## 月別活動

- 5月 活動開始
- 6月 キックオフミーティング・活動内容の提案、整理
- 7月 文学部コミュニケーション学科の張先生ゼミ1年生に対して啓発講演
- 8月 倉陵祭企画
- 10月 倉陵祭参加
- 11月 ZTV撮影
- 1月 伊勢市内保育園にて出前授業

【予定】 令和6年6月 伊勢市内小学校・幼稚園へ赴き、出前講座を実施予定。倉陵祭にも参加予定、引き続き啓発を続ける。



## 活動を通して学んだこと

活動を通して、全体的な活動計画、企画運営などを行い、主体性の大切さを学ぶことができた。伊勢市役所の方々には、私たちの意見を多く聞き入れてくださり、学生主体の活動・提案ができた。そのことが、自己の意見を言うこと、主体性を持って活動すること、それらを基に話し合っ具体的事柄を決めることに繋がった。以上のことから、主体的に動き考えることが活動成果を左右するため大切であると学んだ。

## 実施主体からのコメント

伊勢市環境生活部ごみ減量課  
ご担当者様

「大学生向けごみ分別啓発活動!!」という、漠然としたテーマであるにも関わらず、実施主体が期待する「学生視点」で取り組んで頂き、本当にありがとうございました!!

学生の皆さんには、「新1年生へのごみ分別啓発」「倉陵祭における啓発」「CATV特集」「保育園への出前授業」「伊勢市のごみマニュアルの修正」など、多岐に渡り取り組みを実施してもらいました。

伊勢市外から通学される学生さんにとっては、メリットは少なかったかもしれませんが、「ごみ分別啓発」をする“理由”や“目的”について、かなり深い所まで理解していただけたと思います。

参加説明会でもお伝えしましたが、学生さんにとって“CLL活動”のメリットとしては、「成果を形として世に出せる」ことであると思います。今回も啓発の中で「ごみ分別マニュアル」や倉陵祭で配布した「トートバッグ」など“形”として残るもの、また、「CATV特集」についても放送終了後はYouTubeで視聴することができるなど、“情報”として残すことができました。

是非、この“形”を皆さんの成果とし、これからの社会に立ち向かう際の“武器”として、就職活動時のPRなどでご活用いただければと思います。

## 担当教員より

## 現代日本社会学部 筒井 琢磨

事業主体のごみ減量課の皆さまと密に連絡を取りながら、いいチームワークで活動されたこと認識しています。倉陵祭での広報活動にとどまらず、ケーブルテレビ出演や出前講座もさせてもらい、貴重な経験を積めたことでしょう。将来、それぞれの職場でその経験を活かす機会があると思いますので、反省点も含めて大事になさってください。

## 📣 こんな人におすすめ!

- ・小学校や幼稚園で子どもと一緒に学びたい人
- ・ゴミ分別や環境、SDGsなどについて関心がある人
- ・いろいろなアイデアを考えることが好きな人
- ・社会科が好き・得意だった人
- ・地域に貢献したい人



## 成果物 / 制作物